



# 鈴峰中だより

令和3年6月11日

第6号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhreiho>

鈴鹿市立鈴峰中学校

6月6日

夏季廃品回収実施



時折小雨がぱらつくお天気でしたが、無事に夏季廃品回収を実施することができました。保護者の皆さんの尽力はもとより、地域の方々からも手厚いご支援があり、市内の学校の中でも最大規模の取組となっています。また、その歴史は50年以上にわたっており、収益は学校の環境整備費や生徒の学習活動費の一部として活用されています。



収益もさることながら、生徒にとっては大人とともにリサイクルの作業をし、環境教育や勤労の尊さを学ぶ場としても、とても大きな意義のある行事です。

本年度も多くの方々が携わってくださっていることに、心よりの感謝を申し上げます。



待ち時間に本を開く。これも廃品回収の教育的効果。

6月7日 鈴峰中学校区合同生徒指導連絡協議会開催



第1回の小中合同生指連協が開催されました。各校の担当者や地域の委員からの発信で、児童生徒の学校内や地域での様子について様々な立場からの情報交換をしました。生徒の皆さん、内容についてはどうぞ心配なく。「とてもよくがんばっている」とほめていただきました。大きく温かい目で見守っていただいています。

# 6月7日 出前授業「ユニバーサルデザインのまちづくり」



「ヘルプマーク」は外見からは、支援が必要なことがわからない人に有効です。

2年生では昨年度から、体の不自由な人など色々な立場について考え、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指す取組についての学習に力を入れています。この日は鈴鹿市社会福祉協議会・ハートフルの方に「車いす体験」の出前授業をしていただきました。



スラロームの自力走行



順番待ちの間に、車いすの方に積極的に質問をしました。



車いすの介助には様々な配慮やコツが必要なことも学びました。

車いすを押すときには向きを変えたり段差を降りたりする前に声をかけるなど、様々な場面でのコミュニケーションが必要であるなど、何よりも、相手のことを知り正しく理解することが大切であることを学びました。



## — ユニバーサルデザインとは —

ユニバーサルデザインは、「<sup>としよ</sup>お年寄り、<sup>からだ ふじゆう</sup>身体の不自由な人、<sup>ひと にんじん</sup>妊娠している人、

<sup>あか</sup>赤ちゃん連れの人、<sup>こ</sup>子ども、<sup>がいこく</sup>外国の人など、<sup>ひと</sup>いろいろな人にとって<sup>つか</sup>使いやすいデザインのこと」です。

いろいろな人のことを<sup>かんが</sup>考えて、できるだけ多くの人が使いやすいようにす

ることが<sup>たいせつ</sup>大切です。

(ハートフル「<sup>がくしゅうしりょう</sup>学習資料」より)